

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	共愛学園前橋国際大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウアイガクエンマエバシコクサイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F110310101844
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	群馬県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	取材インターンシップ
	学部・研究科等名	国際社会学部
	担当教職員名・役職	客員教授 奥山 龍一
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	20
	受入企業等数	5
	受入企業等名	1.マルシン産業株式会社、2.株式会社エスティビー、3.株式会社中島、4.株式会社プランニング、5.株式会社アーキズムあすか設計
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ
		9.中小企業でのインターンシップ
10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ		
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	この授業は群馬中小企業家同友会との連携講座として開講している。事前研修として、チームビルディングを行い、数名の学生チームで群馬県内の中小企業1社を詳しく調査し、インタビュー項目を作成する。職場訪問および経営者と社員への企業調査報告プレゼンテーションおよび取材インタビューを行う。 事後研修として、インタビュー記録と取材内容の文字起こし、成果報告書の作成、群馬中小企業家同友会の連携企業への成果報告会プレゼンテーションを行う。 インターンシップ入門編で、1, 2年生にも参加しやすいプログラムになっている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している
		5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している
		7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部1年
大学 学部2年		
大学 学部3年		

	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部1～3年を対象。Regional Career Training副専攻の選択必修科目として、前期授業期間中に導入（事前）研修を行い、夏期休業期間中に職場訪問、取材インタビュー、事後研修、成果報告会を実施し、2単位を付与する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
		5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	授業の一環として、群馬中小企業家同友会代表理事、共同求人部会長、協力企業経営者による講義と交流・意見交換会を実施。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
		4.その他
3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	学生チームごとに取材インターンシップの成果報告書を作成する。	
3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している	
	3.その他	

	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	担当教員が立ち会い、学生チームによる企業経営者と社員への企業調査報告プレゼンテーションおよび取材インタビューを行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前研修として、キャリア導入教育、チームビルディングを行い、数名の学生チームで群馬県内の中小企業1社を詳しく調査し、インタビュー項目および企業調査報告プレゼンテーションの作成を行う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	事後研修として、インタビュー記録と取材内容の文字起こし、成果報告書の作成、群馬中小企業家同友会の連携企業への成果報告会プレゼンテーションを行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	各チームごとの進捗状況確認を毎回の授業で行っている。 夏期休業期間はメール等で職場訪問等の進捗報告を行っている。 担当教員が立ち会い、学生による企業経営者と社員への企業調査報告プレゼンテーションおよび取材インタビューを行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入企業の経営者と社員からの評価、意見交換を行う。学生チーム間の進捗確認、意見交換、相互評価を行い、成果報告プレゼンのブラッシュアップを促している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前研修の授業では、チーム作業、グループ発表、毎回の授業アンケートをとり、学生の意識や行動の変容を確認している。 特にチームビルディングに注意して、役割分担、進捗確認、目標達成などのプロジェクトによるミッション遂行を促進している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	事前11コマ+実施2日（企業訪問、取材インタビュー）+事後5日
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	

要素⑤	5-3.上記回答内容に関する詳細	<p>第1回4月23日5時限「オリエンテーション」</p> <p>第2回5月14日5, 6時限「取材インタビューの方法」</p> <p>第3回6月4日5, 6時限「質問項目の作成」</p> <p>第4回6月11日5, 6時限「取材先企業の調査」</p> <p>第5回7月9日5, 6時限「群馬中小企業家同友会を知る」</p> <p>※群馬中小企業家同友会のゲスト講師</p> <p>第6回7月16日5, 6時限「取材先企業調査のプレゼン」</p> <p>※夏休み中に企業訪問と取材インタビュー</p> <p>第7回9月13日～16日「事後研修成果報告書の作成」</p> <p>第8回9月17日「成果報告会プレゼンテーション」</p>
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	6.企業と協働して、P D C Aを実施している	
6-3.上記回答内容に関する詳細	群馬中小企業家同友会との連携事業に位置付け、同友会共同求人部会の事業になっている。同友会から協力企業を推薦していただき、その経営者と半年間の検討を重ね講座を設計した。協力企業の経営者からは、実務だけのアルバイト的なインターンシップ、学生をお客様扱いするインターンシップではなく、学生がしっかりと企業調査をして、社長インタビューを行い、成果報告書を作成するといった、目標達成のビジネスマインドを修得するプログラムになっている点が評価されている。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<p>シラバスURL：http://sy.kyoai.ac.jp/2021/850100.pdf</p> <p>成果報告会記録ビデオURL： https://vimeo.com/613287919/5a61a98071</p>
問い合わせ先	大学等名	共愛学園前橋国際大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	キャリアセンター・就職支援グループ長
	担当者氏名	大谷 翔
	電話番号	027-266-9035
	メールアドレス	otani-s@c.kyoai.ac.jp